

# 令和6年度 学校評価 生徒アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R6	R5	R4
1 教育活動全般について	1	学校は教育方針や育てたい生徒像をはっきり示してくれる。	3.1	3.2	3.3
	2	学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている。	3.4	3.4	3.6
	3	学校は進路に関して情報を提供してくれている。	3.5	3.5	3.6
	4	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.2	3.4
	5	担任の先生は、保護者との連絡を密にしている。	3.0	3.1	3.3
	6	生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い。	3.2	3.2	3.4
2 学習活動について	7	1日の平均家庭学習時間。 (2時間以上・4, 2時間~1時間・3, 1時間~30分・2, 30分~0分・1)	1.7	1.9	1.9
	8	先生は、テスト以外の面も評価してくれている。	3.5	3.4	3.5
	9	私は、地域課題について自ら考え、その解決に向けて行動した。	2.7		
	10	授業でわからないことについては、先生に質問しやすい。	3.0	2.9	3.2
	11	始業時には、きちんと席に着き、教科書等の準備をしている。	3.5	3.5	3.2
	12	課題・提出物は期限までに提出している。	3.1	3.2	2.9
3 教育環境について	13	学校は校舎内外の環境整備に努めている。	3.1	3.2	3.2
	14	学校の施設・設備は安全面で問題はない。	3.2	3.3	3.3
	15	学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.0	3.1	3.2
	16	ゴミを散らかさないようにしている。	3.5	3.5	3.4
4 生徒活動について	17	生徒会活動に関心を持ち積極的に参加している。	2.8	2.9	3.2
	18	社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.3	3.5	3.2
	19	自分からすすんであいさつをしている。	3.4	3.5	3.4
	20	部活動に積極的に取り組んでいる。	3.2	3.4	3.6
5 その他	21	壱岐商業高校に入学して良かったと思う。	3.3	3.3	
	22	朝の10分間読書に熱心に取り組んでいる。	3.5	3.5	3.5
	23	学校行事は楽しみである。	3.5	3.5	3.6
	24	周囲や相手のことを思いやって生活できている。	3.5	3.5	3.4

# 令和6年度 学校評価 保護者アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R6	R5	R4
1 教育活動全般について	1	本年度の学校教育目標は分かりやすい目標になっている。	3.1	3.3	3.1
	2	学校の生徒指導に対する姿勢に共感できる。	3.1	3.1	3.0
	3	学校は保護者に学校の様子を知らせてくれる。	3.1	2.9	3.0
	4	学校は子どもが部活動に意欲を持って参加できる環境が整っている。	3.2	3.2	3.0
2 学習活動について	5	子どもは学校行事を楽しみにしている。	3.4	3.4	3.3
	6	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	3.3	3.3	3.3
	7	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	3.0	2.9	2.8
	8	子どもは家庭学習を行っている。	2.6	2.6	2.7
	9	先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している。	3.2	3.2	3.2
	10	学習の内容や進度等を、懇談や学校からの通信によって知ることができる。	2.9	3.0	2.9
3 教育環境について	11	学校は事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	3.2	3.2	3.1
	12	学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.3	3.3	3.3
4 開かれた学校づくりについて	13	学校は保護者や地域の人たちと話をする機会を多く設けている。	3.0	2.9	2.8
	14	学校は子どもの様子を保護者や地域に情報提供してくれる。	3.0	3.0	2.9
	15	学校は地域の行事をよく理解し、協力的である。	3.2	3.2	3.1
5 その他	16	子どもは社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.2	3.3	3.3
	17	子どもは積極的に部活動に参加している。	3.4	3.5	3.4
	18	家庭では、ネットトラブルや情報モラルについての話をしている。	3.1		
	19	担任に子どもの教育について気軽に相談できる。	3.2	3.1	3.1
	20	子どもは周囲や相手のことを思いやって生活できている	3.3	3.3	3.3

## 令和6年度 学校評価表（職員評価）

<b>校 訓</b>	(1) 知性 【高い理想を掲げるとともに、学んだ知識・技能を活用して、自ら課題を発見・探求し、成果等を表現できる能力を育もう】 (2) 信義 【礼儀を正し、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決しようとする態度を身につけよう】 (3) 勇氣 【体位を向上させ、様々な変化に積極的に向き合い、新しいことに挑戦する勇氣を養おう】	<b>総合評価</b>			
<b>教育方針</b>	ふるさとを愛し地域社会で活躍する人材を育成するためには、常に学び続ける姿勢と新しいことに挑戦する姿勢を醸成する必要がある。また、他者の考えを尊重し自他共に幸せを求める人材となるように、学校生活のあらゆる場面で生徒自身が考え行動できる環境を構築し、地域に求められる生徒の育成を目指す。	<b>3.3</b>			
<b>教育ローガン</b>	本気で学んで 本気で鍛えて 夢実現！ ～目指せ！日本一の島の専門学校～	<b>本年度の合言葉</b>			
<b>教育目標 (育てたい生徒像)</b>	1 高い自己肯定感を持ち、他者を思いやることのできる生徒を育てる。 2 自ら考え、行動・判断できる生徒を育てる。 3 将来、会社を経営したい生徒や会社内で経営について建設的な意見を述べる事ができる生徒を育てる。	「Well-Being ～それぞれが主役～」  <b>(昨年度3.2)</b>			
<b>本年度の重点目標</b>		<b>生徒の行動目標</b>			
1 学習指導 (1) 教育デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進 ・指導の個別化 (個に応じた教材の提供および柔軟な学習時間の設定) ・学習の個性化 (個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の提供) (2) ティーチング重視からコーチング重視への教育転換 (3) 客観的で適切な観点別評価の実施  2 生徒指導 (1) 特別な支援や配慮を要する生徒へのチーム対応 (2) 学校生活全般において生徒の主体性を育む教育の推進	3 学校運営 (1) 分掌事項の整理・統合 (2) 内規の見直し (教務・校則・部活動) (3) コンプライアンス遵守	(1) 自分を大切にし、他人を思いやろう。 (2) 自分の意見を言語化し論理的に相手に伝えよう。 (3) 家庭学習時間を作ろう。			
評価は右記の4～1の番号を記入してください。                      4：十分達成できている                      3：おおむね達成できている                      2：どちらかという達成できていない                      1：ほとんど達成できていない					
<b>分掌学年等</b>	<b>努力目標</b>	<b>具体的方策 (到達目標)</b>	<b>評 価</b>	<b>成果と課題</b>	
			昨年度 本年度 総合		
教 務 部	(1) 授業時数の確保と円滑な行事運営を行う。 (2) 授業研究及び情報交換の機会を設け、指導力向上のための研修を促進する。 (3) ICT教育や変化する教育活動に対応し、職員生徒の疑問に応え実践を支える。 (4) 保護者、同窓会、地域等との連携を図り、PTA活動の活性化や情報発信などにより開かれた学校づくりを推進する。 (5) 誰もが読書を楽しめる図書館運営を心がける。 (6) 図書委員会の活動を活発化し、仕事への責任感を持たせる。 (7) 朝の読書が、生徒にとって有意義で快適な時間となるよう支援する。	職員会議資料は、会議の2日前までに整理し、まとめて起案および冊子化することを目指す。また、会議前日までに職員配布することを目指す。  PTA行事 (総会、地区PTA、研修会) の出席率が過半数を超えるように促す。  教務部内で業務連絡・分担確認を定期的に行い、連携して行事の円滑な運営を図る。  各行事の実施後10日以内には反省を行い検証し、次年度につなげる。  教育相談部との連携を図り、ユニバーサルデザインの充実を図る。  課題・提出物は期限までに提出している。 (今年度目標90%)  一日あたりの来館者10人以上をめざす。  図書委員にカウンター作業を徹底させる。  貸出本の未返却者を0にする。  「図書館だより」を年3回発行する。	3.8 3.5 3.0 2.8 3.5 3.7 3.0 3.7 2.8 2.8 2.5 3.0 1.9 2.4 2.8 3.2 2.0 2.6 3.8 3.6	3.1	<業務全般> ・部内で声を掛け合ったり確認し合ったりと、組織内で連携できていた。 ・教務部内の業務などは連携してスムーズだったと感じる。 ・会議資料については概ね会議前日に起案印刷できており手配できた。 ・行事反省は速やかに行っている。 <業務共有> ・年間を通して教務部会で情報共有をしながら、業務は円滑に進んだと思った。 ・分掌会を年度途中からではあるが、組み込むことで連絡はできていたとは思いますが、不参加者への伝達不十分な場面もあった。 ・途中からチャイム業務を引き継いだが、周囲の先生方と確認しながらみんなでチャイム管理ができるようになったのが良かった。 <新たな取組> ・伝統や旧慣温存的な視点にとらわれず、思い切って変えるべきところは変えるなど、柔軟な仕事できていた。 ・今までにない新しい形式で、生徒主導でのオープンスクールを実施できたことは良かったと思う。 <図書館> ・図書館の来館者がなかなか増えないため、工夫して来館者の増加に努めていきたい。 <その他> ・確認が大事な分掌だと思うので、まず自分でセルフチェックを徹底したい。 ・保護者への呼びかけなど自分の力が直接的に及ばないところは数値目標の達成が難しく感じる。 ・現在フォントの統一が図られているが文字サイズ等は10.5～12ptとバラバラである。相談部と様々な面で対話の時間があるとよいのではないかと。
生徒指導部	(1) 全職員が共通理解の下に、あらゆる機会でも容儀・マナーの指導を行う。 (2) 校内・校外巡視、登下校指導を行い、職員同士や保護者との連携を密に行い、問題行動発生の予防に努める。 (3) 保護者・地域関係諸機関と連携し、生徒の健全な成長を目指す。  <今年度の重点的取組> (1) 容儀指導の徹底 (基準の確認、共通理解) (2) 問題行動の未然防止 (校内外の巡視、登下校指導の充実) (3) 保護者・地域関係諸機関との連携 (PTA、学警連、学校・警察相互連絡制度) (4) 「どこでも誰にでも、さわやかな挨拶」の徹底	容儀指導を月1回実施し、事後指導を徹底する。  学年・分掌との連携を深め、問題行動の予防に努める。  交通ルールやマナー指導、自転車点検などを行い、交通事故「ゼロ」を目指す。 「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。 「生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い」の項目で85%以上を目指す。 「社会のルール、学校のルールをよく守っている」の項目で95%以上を目指す。 「自分ですすんで挨拶をしている」の項目で95%以上を目指す。 「吉崎商生として誇りを持っている」(吉崎商業高校に入学して良かったと思う)の項目で生徒アンケート90%以上を目指す。	3.7 3.6 4.0 3.6 3.3 4.0 3.3 3.6 3.7 3.7 3.4 3.4 3.7 3.6 3.2 3.3	3.6	・問題行動の未然防止対策として、期間と目標を設定し、学年と担任を中心に取組んだ。次年度は、年間計画を作成し、より充実させたい。そして、学年運営やクラス運営により活用しやすいように進めていきたい。さらに、各分掌がもっと利用しやすいように考えていきたい。  ・部として保護者や地域の関係機関との連携を密にとる機会はなかった。その理由として担任や学年間で、生徒・保護者との日々の関わりが成果として現れていたと考えている。  ・ここ数年、生徒が比較的落ち着いている生活態度であり、保護者等も本校の教育活動に対して協力的な様子である。その要因を深く考えた上で、本校の職員のバランス等も考慮し、さらに向上していくための取組等を部内で検討していきたい。

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
進路指導部	(1)3年間を見通した進路指導の方策を練るとともに職業観・勤労観を育てる。また、キャリアパスポートの運用について円滑に進める。 (2)進路ガイダンスなど進路関係の諸行事への保護者の参加を増やすとともにHPによる情報発信を行う。 (3)企業訪問により追跡調査・定着指導を行うとともに、求人確保につなげる。 (4)基礎学力向上に対する取組を策定する。 (5)進路閲覧室の環境整備を進め、生徒の利用を増やす。	3年生の進路決定率100%。	3.5	3.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の進路行事や指導体制の整備など、見直し、改善、新たな挑戦を積極的に行った。3年の進路決定状況がその成果と言える。</li> <li>・生徒自身が十分な進路指導を受けている実感が乏しい、また指導の効果を家庭に共有できていないという課題に対し、今年度は行事の事前事後の取組を工夫したり、積極的にHP発信を心がけたりしたが評価には繋がらなかった。</li> <li>・生徒が自分の進路を真剣に考えることができ、段階的に分析判断していくことができる仕掛けの充実や、対面共有の機会として三者面談の拡充、また行事への保護者等参加の推進を検討していきたい。</li> <li>・1・2年生四年制大学進学希望者に課外活動参加等を促せる仕組みを構築したい。</li> </ul>
		学校評価「学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている」「学校は進路に関して情報を提供してくれている」の両項目で、3.5以上を目指す。	4.0	3.5		
		学校評価「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の項目で、3.5以上を目指す。	3.0	3.0		
教育相談部	(1)悩みや不安を抱える生徒の把握に努め、適切な時期に相談を実施する。 (2)担任、養護教諭や生徒指導部との連携を密にし、効果的なカウンセリングに努める。 (3)「学校いじめ防止基本方針」を元に、いじめ問題根絶のため、多面的な情報収集と面談を実施し、予防、早期発見、早期解決に努める。 (4)人権・同和教育の充実に努める。 (5)各種奨学金を必要とする生徒に対し、円滑な手続きを行い、学校生活の支援をする。 (6)全職員の共通理解のもと、学年・分掌の枠を超えて生徒への対応を行う体制づくりに努める。	関係職員と連携し、要観察生徒の情報交換を密にし、全教職員で共通理解をする。記録を引継ぎシートに残す。	3.2	3.2	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『いじめや暴力のない学校づくり』と『生徒の悩みや相談についての先生の対応』への評価は生徒・保護者ともに昨年とほぼ変わらなかったが、今後はよりよい組織的な生徒支援のありかたを検討し、実施したい。</li> <li>・生徒についての各担任や学年からの情報共有は直接、または会議録などを通して行うことができた。</li> <li>・不登校傾向の生徒について一部の教員の負担とならないような手立てをケースに応じて考え、取り組むことが必要である。</li> <li>・SSW（年間105時間）の他、必要に応じて外部機関と連絡を取り、生徒支援のための情報の共有を行った。</li> <li>・教育相談委員会年間3回、特別支援教育推進委員会年間3回を実施し、生徒支援の方策を検討することができた。</li> </ul>
		年1回4月に心理検査等を実施し、生徒一人ひとりが抱えている内面的問題を把握し、学級担任のより一層の生徒理解を図る。	3.4	3.4		
		養護教諭と連携して、日々の学校全体の欠席状況や保健室利用状況を把握し、毎週1回分掌会で「気になる生徒」の情報交換を行い学年・分掌間の連携と協力体制を作る。	3.4	3.6		
		教育相談委員会を学期に1回、年最低3回実施し、生徒状況の把握や保護者への対応の在り方、学年間での共通理解を図る。	3.6	3.6		
		事例研究や精神科医や教育相談員の講話等の職員研修を年1回は実施する。	3.6	3.4		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。【今年度： % 昨年度：86.0%】	3.2	3.2		
		学校評価「生徒の悩みや相談について親身となって応じてくれる先生が多い」の項目で90%以上を目指す。【今年度： % 昨年度84.5%】	3.2	3.2		
保健環境部	(1)美化意識の向上と清掃励行について ①1・2学期に美化週間を設け、学校全体で美化意識の向上を図る。 (2)定期健康診断を確実に実施し、事後指導を徹底する。 ①検診時のマナー指導 ②生徒・保護者への速やかな事後措置と受診指導。 ③担任・関係職員との連携。 (3)保健指導の充実 ①う歯の予防や健康的な生活の指導（歯科・眼科の受診率向上） ②性教育の実施 (4)感染症対策を徹底し、集団発生を防ぐ。 (5)心のケアについて ①生徒一人ひとりの心の変化に気を配り、相談しやすい雰囲気を作る。 ②教育相談部と連携し、生徒のカウンセリングの方策について、全職員で共通理解を図る。一人で抱え込まず、チームで指導にあたる。	美化週間を設定し、日頃できていないところまで丁寧に無言で清掃する。	3.3	3.7	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化週間を設定することで、全体的に美化意識が高まってきている。施設・設備の老朽化も目立つため、安全点検を徹底し、事務室との連携を図っていく。</li> <li>・定期健康診断後の受診率が低い状態が続いている。定期的に個別指導を行い自己管理の大切さを伝えているが、結果に結びつかない状態である、今後も健康意識向上のため、情報発信を行い粘り強く個別指導を継続していく。</li> <li>・感染症に関しては、集団発生は回避できたが、一人ひとりの感染予防の意識は低い状態にある。</li> <li>・各種行事においては必要な健康調査及び健康相談を実施し、心身共に気になる生徒及び配慮が必要な生徒に関しては、関係職員と情報共有を行い、連携した支援を行った。</li> </ul>
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつも綺麗である」の項目において3.5以上を目指す。	3.2	3.3		
		学校評価「ゴミを散らかさないようにしている」の項目において、3.5以上を目指す。	3.4	4.0		
		歯科受診率（昨年度35%）眼科受診率（昨年度56%）を昨年度よりも上げる。【今年度：歯科30% 眼科52%】	2.0	2.3		
		感染症罹患による出席停止措置となる生徒数が全体の1割以下になるように努める。【今年度：34名罹患】	2.6	3.3		
		保健指導を計画的に行い、学校行事での事故をなくす。	3.6	3.7		
		関係職員と連携し、気になる生徒の情報共有を図る。	-	3.7		

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
生徒会指導部	<p>(1)生徒の主体性や自主性を高め、積極的に社会貢献しようとする行動力を育成する。 ○生徒総会で生徒の活動や要望について積極的に検討させる。 ○生徒会と各分掌との連携を深めるとともに専門委員会を各学期2回開催し、生徒集会で報告する。</p> <p>(2)学校行事への積極的な参加と協力する態度を養う。 ○体育祭、文化祭、クラスマッチ等の集団活動の中で連帯感を深め、協調性を養う。特に文化祭では、文化委員を中心にクラスでの準備を計画的に行わせる。</p> <p>(3)生徒会役員会の活性化を図る。 ○定期的に役員会を実施し、役員相互のコミュニケーションを深める。 ○生徒会活動の中でリーダーシップを発揮できるように定期的に研修を行う。</p> <p>(4)部活動の活性化を図ることで統制の取れた集団へと成長し、活力ある学校を目指す。 ○無所属生徒を減らすために積極的に部活動への加入を推進し、特に1年次においては部活動に全員加入するよう指導を行う。</p> <p>(5)ボランティア活動の意義を理解し、実践する能力を養う。</p> <p>(6)平和を愛する心を育てるとともに、人権についての意識を高める。 ○8月9日全校登校日での平和学習を企画、運営する。</p>	各行事において主体的に取り組みせ、連帯感や達成感を高めて目標達成への自信につなげる。	3.5	3.7	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に関しては未加入生徒が一定数いたため、対策を講じたと思った。今後の課題としては、無所属生徒に対して入部を促す、ボランティア活動に参加させるなどして、活力ある学校を目指したい</li> <li>・行事においては、教師が土台を作るのではなく、生徒が土台を作り、教師と一緒に考えていくことができ、生徒主体で活動することができていた。</li> <li>・生徒会が中心となって活動することが非常に多かったと思う。例年よりも大変なことが多かったと思うが、その自分たちが学校を動かしているという意識が強かったのではないか。1月上旬に行った役員への満足度アンケートでは、ほぼ全員が達成感を得られており、目標達成への自信につながったと言える。その中で、アドバイスとして、何事も早く取りかかること、分からないことは仲間や先生を頼ること、などが記入されており、協力する態度が養われたことがうかがえる。</li> <li>・平和学習やクラスマッチでは新しいことに取り組んだのが良かった。特に決勝戦を全生徒が見守る中で行うというのは思う以上に盛り上がった。</li> <li>・月曜朝の挨拶運動や夏のオープンスクールでは3年生役員が主体性を発揮してくれて成長を感じた。</li> </ul>
		部活動加入を積極的に推進し、生徒同士が切磋琢磨することで体得できる集中力や忍耐力、責任感などを身に付けさせる。	3.3	2.9		
		まずは生徒会役員が率先して楽しむことができるようなアイデアを積極的に出し合い、「挑戦」の視点で企画立案を行う。	3.3	3.5		
		「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している」の項目で80%以上を目指す。	3.0	3.2		
		「自分から進んで挨拶をしている」の項目で90%以上を目指す。	3.3	3.5		
		「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で90%以上を目指す。	3.3	3.2		
第1学年	<p>(1)学習指導に関する目標 ① 「わかる授業」「できる授業」だけでなく「考えさせる授業」の工夫 → HowのみでなくWhyを意識させる ② 課題等の提出の徹底(教科担任で責任をもつ) ③ 進路指導と並行した学力向上対策・・・3年間で全科目GTZ「D3」0人を目指す ④ 資格取得対策・・・・・・・・・・1学年で3級全員取得</p> <p>(2)生活指導に関する目標 ① お互いの価値観の尊重 ② 清掃の徹底と教室・廊下の美化 ③ 校則遵守・礼法・挨拶・マナーの指導 ④ 身だしなみ指導の徹底 ⑤ 時間厳守の徹底 ⑥ 安易な欠席の予防 ⑦ 不登校傾向にある生徒への早期対応 ⑧ 「いじめ」の早期発見と早期解決</p> <p>(3)その他 保護者との連携を密にし、信頼関係を築く。</p>	年間出席率99.0%以上を目指す。(欠席は年間3日以内、遅刻をしない)	2.6	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有を密にし、問題に対してはチームとして素早く対応してきたことで、担任がハンドルを握る学級経営を学年全体で支えることができた。</li> <li>・長期欠席の生徒に対し、登校希望がある段階における指導の難しさがあつた。</li> <li>・学習面において、課題等提出の徹底や苦手克服の対策の工夫が求められる。</li> </ul>
		提出期限を守ることを徹底させる。	2.5	2.8		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で3.5以上を目指す。	3.8	3.5		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で3.5以上を目指す。	2.5	2.8		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で3.3以上を目指す。	3.2	3.3		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で3.5以上を目指す。	3.7	3.6		
		学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で3.4以上を目指す。	3.2	3.4		
第2学年	<p>(1)学習指導に関する目標 ① 授業を大切にしたい意欲的な学習態度の育成 ② 家庭学習の定着と課題の期限内提出の徹底 ③ 成績不振者への個別指導</p> <p>(2)適性・能力にあった進路意識の育成 ① 個人面談(二者・三者面談含む)による進路意識の高揚 ② オープンキャンパス参加や進路指導室利用の促進</p> <p>(3)生徒指導に関する目標 ① 礼儀・マナーの育成 ・挨拶、言葉遣い、容儀(頭髪・服装など)の指導徹底 ② 規律ある生活態度の育成を図る ・健康面の自己管理、時間厳守、「けじめ」ある行動などの指導徹底</p> <p>③ 「いじめ」のない、落ち着いた学習環境作り ・「いじめ」の早期発見と早期解決 ・教室整備と掃除の徹底</p> <p>④ 生活面で問題を抱える生徒への早期対応</p> <p>(4)その他 保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。</p>	挨拶、言葉遣い、容儀(頭髪・服装など)の指導徹底	2.6	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担任は「期間目標」をうまく利用してクラス運営をしている。どのクラスも様々な取り組みを行っており、その取り組み状況や工夫していることを毎週の学年会で報告してもらい、アイデアをシェアしている。</li> <li>・修学旅行には全生徒が参加できたので良かった。体育祭、文化祭で生徒の2学年集団への帰属意識が高まっていたので、事前指導がやりやすかった。この修学旅行で学年の団結力(生徒も教員も)が更に高まったことを実感している。</li> <li>・全般的に成長が感じられるが、自ら進んで行動できる生徒はまだ少ない。新生徒会長がやる気に満ちているので、彼を育てることで全体の底上げに繋がれば、と期待している。</li> <li>・残りの数か月は次年度に向けて進路を意識する仕掛けを増やしていく。4月から良いスタートが切れるようにしたい。</li> </ul>
		保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。	3.0	3.2		
		社会人としての礼法・マナー及びコミュニケーション能力を定着させる。	2.5	3.3		
		学校評価の全ての項目の平均で、4・3の合計評価が、80%以上を目指す。	3.1	3.2		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で4・3の合計評価が85%以上を目指す。	3.7	3.3		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で4・3の合計評価が80%以上を目指す。	2.7	2.7		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で4・3の合計評価が90%以上を目指す。	3.5	3.3		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で4・3の合計評価が90%以上を目指す。	3.0	3.5		
学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で4・3の合計評価が85%以上を目指す。	3.0	3.2				

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
第3学年	(1)学習指導に関する目標 ① 成績上位者の育成 ② 主体的に学習に取り組む態度の育成 ③ 資格取得の奨励 (2)進路指導に関する目標 ① 個人面談や面接指導、進路講話等による進路指導の充実 ② 個々の生徒の希望と適性に応じた進路指導 (3)生徒指導に関する目標 ① 礼儀・マナーの育成 ・挨拶、言葉遣い、容儀（頭髪・服装など）の指導徹底 ② 規律ある生活態度の育成を図る ・健康面の自己管理、時間厳守、「いじめ」ある行動などの指導徹底 ③ 「いじめ」のない、落ち着いた学習環境作り ・「いじめ」の早期発見と早期解決 ・教室整備と掃除の徹底 ④ 生活面で問題を抱える生徒への早期対応 (4)その他 ① 保護者との信頼関係を深め、進路実現への連携を図る。 ② 体育祭、文化祭等の学校行事をとおして、クラス・学年団の団結力を深め、目標達成による充実感を体験させる。 ③ 成人年齢の引き下げによるトラブル防止と社会で一人の大人として生きていく力を身に付けさせる。	年間出席率99.0%以上を目指す。また全員卒業を達成する。	3.1	3.1	3.4	・生活面では人間関係のトラブルや指導に配慮を要する生徒の問題があった。各担任や学年で連携し対応にあたった。 ・進路については大学進学者を複数名出すことができた。 ・学校行事では、全体のリーダーとして、主体的に取り組む姿がみられた。一方で2学期後半一部の生徒に安易な遅刻や早退、欠席がみられた。 ・仲の良い人間関係が固定化し、他のグループと交わることを避ける雰囲気が全体的にみられた。
		問題行動「ゼロ」を目指す。	2.4	3.1		
		進路決定100%を目指す。	3.0	3.6		
		生徒学校評価の全ての項目の平均で4.3の合計評価が、80%以上を目指す。	4.0	3.5		
		生徒学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目平均で、4.3の合計評価が85%以上を目指す。	4.0	3.8		
		生徒学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	4.0	3.4		
		生徒学校評価「自分から進んで挨拶をする」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	4.0	3.4		
商業科	(1)情報処理・簿記・ビジネス文書の3級は、1年次までに全員の取得を目指す。 (2)2級以上は、補充・課題研究で対応する。 (3)株式会社の活動を通じて、ビジネスマナーや起業するための方法を実践し習得させる。	教育課程の見直し。(生徒の実態に即した課程の検討)	2.7	2.5	2.7	・会社の運営はまだ手探りの状態だが、地域に必要とされる学校であるためにも様々な視点を持ち、実践を重ねさせたい。株式会社の中で部署での事業を開始することができた。株式会社の運営を通して地域貢献はとてもできていると思う。次年度以降、スムーズに運営するために問題点を共有する必要がある。株式会社の活動は今年度が初めてで、課題研究等のすみ分け等改善の必要な部分もあった。株式会社は3年生のみの活動となっているので1・2年生も巻き込む活動になるようにしていきたい。 ・検定に対しては実務的な授業を通して知識・技術を定着させ合格を目指すレベルに持っていく指導を追求していきたい。教育課程と授業内容決定後、検定サポートについて検討が必要。簿記検定の取得に向けてはしっかり取り組めた。 ・各科目に対する生徒のモチベーションをあげるため、教材の工夫を行った。次年度は質とタイミングを修正して更に効果を高め、検定合格者数の向上に努めたい。各種検定2級以上の希望受験者・高度プログラミング受講者が少なかった。興味関心を持たせ、学習内容を深めたい、検定にも挑戦したいという意欲を引き出すような工夫が必要。 ・家庭学習をする習慣を付ける必要がある。
		簿記検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	3.0	2.7		
		情報処理検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	3.1	2.9		
		全商3種以上 7名(昨年度は6名)	2.2	2.7		
		ビジネスマイスター長崎 20名(昨年度32名)	2.6	2.6		
		生徒学校評価「私は、地域課題について自ら考え、その解決に向けて行動した」の項目平均で3.0以上を目指す。(今年度より新設項目、平均2.7)	-	3.0		